

4. 新最終処分場の建設候補地

4.1 建設候補地の位置及び概況

建設候補地の位置図を図 4-1-1 に示す。

建設候補地は、現最終処分場の隣接地であり、松阪市南東の上川町・山添町の境界付近、真盛川（2級河川金剛川水系）の上流域に位置している。

建設候補地の南側にはJR紀勢本線が走るほか、北側に三重県道756号松阪環状線、西側に三重県道59号松阪第2環状線、東側に三重県道701号線御麻生菌豊原線が走っている。また、北側は上川工業団地、東側は松阪市総合運動公園に隣接している。

建設候補地の土地利用状況は、谷部が耕作地及び荒地、丘陵部が林となっている。

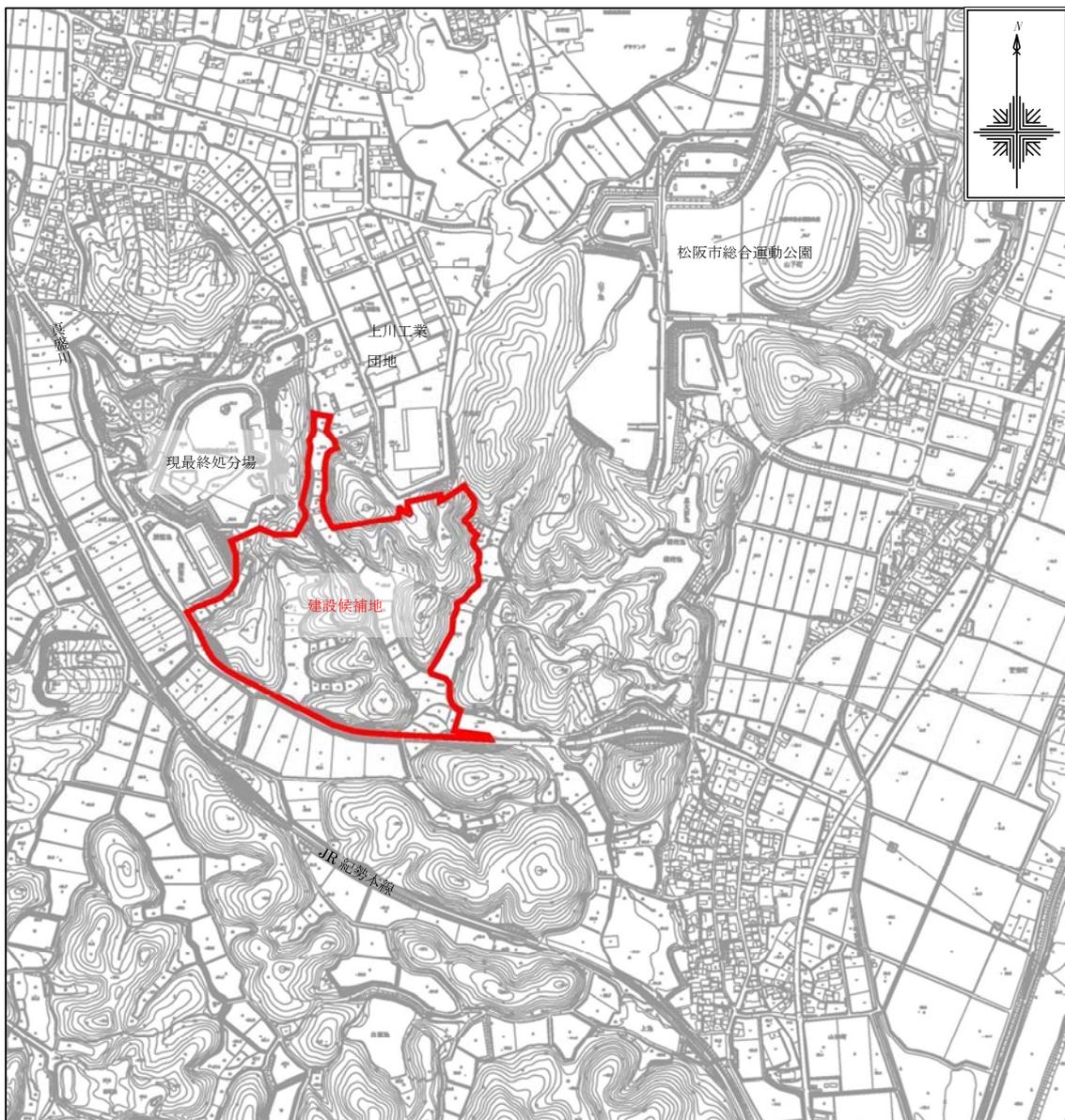


図 4-1-1 建設候補地の位置

4.2 建設候補地の選定理由

建設候補地は以下に示す点で最終処分場建設地としての適性が高いといえる。

- 現最終処分場との一元管理によるコスト削減
埋立完了後の現最終処分場と新最終処分場の一元管理、現最終処分場と新最終処分場の浸出水の一元処理による維持管理の効率化とコスト削減が見込める。
- 埋立地としての地形の適性
建設候補地は林となっている丘陵部と耕作地となっている谷部がある。丘陵部と谷部の地形を活用することで効率的な造成が可能である。

4.3 建設候補地の諸元

建設候補地の主な諸元を表 4-3-1 に示す。

表 4-3-1 建設候補地の諸元

項目	諸元
位置	松阪市上川町・山添町地内
敷地面積	約 12ha
土地利用状況	谷部：耕作地及び荒地 丘陵部：林 その他：上空に中部電力の架空電線路が存在する
法規制の状況	農業振興地域 都市施設「公共空地（公園）」
周辺環境	北側：上川工業団地が隣接する 東側：松阪市総合運動公園が隣接する 南側：JR 紀勢本線が走っている 西側：現最終処分場が隣接する
地形	標高約 20m～50m の丘陵地であり、観音岳、堀坂山、白猪山などの山地から広がる丘陵地の端に位置している。東西が丘、南北に谷となっている。谷部には平地があり、北側を上流に南へ緩やかな勾配で下っている。
地質	新世代新第三紀瀬戸内中新統一志層群櫛田層が分布している。櫛田層は塊状の中粒～粗粒の砂岩層を主体としており、その砂岩層と泥岩との互層で形成されている。風化が中程度進んでおり、岩体や岩片のかたさは中程度である。起伏の多い古い時代の地層に対して新しい時代の地層が水平にぶつかるように堆積しており、一志層群は全体として東ないし北東方向へ 10°～30° 傾斜を示している。 また、谷部には河床堆積物や耕作土が堆積している。
放流先河川	真盛川（2 級河川金剛川水系）